

--	--	--	--

教科	国語	単位数	3単位	学科・学年・コース・組	2年 特進クラス
使用教科書	東京書籍「新編現代文B」(現B321)				
副教材等	「常用漢字ダブルクリア」(尚文出版)、「クリアカラー国語便覧」(数研出版)、国語辞典、漢和辞典				

1 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。)

月	単元名	教材 ※は備考	主な学習の領域	主な学習活動(指導内容)	話し活動	主な評価方法
4	1 随想	さくらさくらさくら	読む	本文を通読して、内容の上から本文を3つの部分に分けて、それぞれの内容を整理する。 ・筆者がデンマークやヨーロッパでの体験から得た、桜に対する外国人の感じ方・考え方を理解する。 ・筆者の桜を読み込んだ歌の内容を理解する。 ・桜に対する日本人の考え方と歌人の考え方、筆者の考え方を、それぞれ理解する。 ・『源氏物語』や『伊勢物語』、『古今和歌集』といった代表的古典作品の文学史的位置づけを理解する。	引用歌や体験談に注意しながら、桜に対する日本人独特の感性について理解を深める。	授業の取組の様子
	2 小説1	みどりのゆび	読む	・この小説の場面展開を的確に読み取ると同時に、冒頭と最後の情景の関係を理解する。 ・小説における比喩的な表現の工夫を理解する。 ・小説に込められた作者の思いを理解する。	この小説の感想を各自まとめて発表する。	授業の取組の様子
5	定期テスト 創作の楽しみ	意見文の書き方	書く 話す	・テーマを設定し、情報を集め、それを整理して文章にまとめる手順をとらえる。 ・客観的事実と自分の意見を区別して意見を述べる。	発表する	授業の取組の様子 意見文
	4 詩歌	1つのメルヘン I was born ぶうぶう紙を…	読む	・詩の基本的な読み方を習得する。 ・詩の情景、心情などを表現に即して読み味わう。	鑑賞文を作成しグループで発表しあう。	授業の取組の様子 鑑賞文
6	3 評論1	生命とは何か	読む	・論の展開に注意しながら、本文を通読する。 ・筆者の考える生命の特徴を理解する。 ・生命活動の本質とはどういうものか理解する。 ・「渦」と「代謝」の共通点と相違点をまとめる。	生命の不思議さについて、具体例を挙げながら話し合う。	授業の取組の様子
	定期テスト					
7	3 評論1	「ふしぎ」ということ	読む	・内容の上から本文を3つの部分に分けて整理し、内容を理解する。 ・具体例を用いた論証の仕方を理解する。	自分の考察を深めて意見をまとめる。	授業の取組の様子
	漢字力テスト	※「常用漢字ダブルクリア」	書く	・漢検3級レベルの漢字を習得し、基礎語彙力の充実を図る。		授業の取組の様子
9	4 詩歌	信濃路【短歌】	読む	・それぞれの短歌に詠まれた情景を読み取ると同時に、そこに込められた作者の思いや感動を理解する。	グループで鑑賞文を作り発表する。	授業の取組の様子
	5 小説2	山椒魚 ◆小説の楽しみ② …小説は誰のものか	読む	・主人公の山椒魚が置かれた状況を理解すると同時に、場面展開を理解する。 ・山椒魚の心理変化を、順を追ってまとめて理解する。 ・「今でもべつにおまえのことを怒ってはいないんだ。」に込められた作者の思いを読み取る。	「国語便覧」で作者のことを発表する。	授業の取組の様子
10		旅する本	読む	・3人の登場人物とそれぞれの物語の展開を理解する。 ・「最初の五、六十ページはなにも印刷されていない紙が続いていた。」「自分の手にした本のページが倍近くにふくれあがっている」という表現が暗示することを理解する。	作者が自分の思いをどのような形で小説という作品にまとめているかを理解し発表する。	授業の取組の様子 発表

	定期テスト						
11	6 評論 2	思考の肺活量 ◆考える楽しみ ②…言葉なんて いららない？	読む	・ 比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。 ・ 「思考」のために必要な「肺活量」とはどういうものか理解する。 ・ 筆者が述べる思考において大切なことを理解する。	自分の考えを人に納得させるために必要な論理的な発信の方法を理解する。	授業の取組の様子	
		安心について	読む	・ 前半部でチャーリー・ブラウンが言う真理を理解する。 ・ シュルツの少年時代の思い出とチャーリー・ブラウンの発言との関係を理解する。 ・ 「安心」についてのシュルツの考えと筆者の考えを理解する。	筆者の意見に対する自分の考えを論理的に書きグループで発表する。	授業の取組の様子	
12	定期テスト					授業の取組の様子	
	漢字力テスト	※「常用漢字ダブルクリア」	書く	・ 漢検 3 級レベルの漢字を習得し、基礎語彙力の充実を図る。		授業の取組の様子	
	7 小説 3	こころ	読む	・ 場面の展開と「私」とKの関係を理解する。 ・ 「私」がKに対して抱いている恐れ、Kを出し抜いた状況、Kに対して放った言葉を中心にして、「私」の心理変化を理解する。 ・ Kが「私」にお嬢さんへの恋心を相談した気持ちを考え、Kの心理と人間性を理解する。(手引き5) ・ Kが自殺した時に「私」が取った行動を読み取り、この時の「私」の心理を理解する。	「K」は何故自殺したのかグループで討論してみよう。	授業の取組の様子	
	定期テスト						
2	まとめ	感想文	話す 書く	・ 1年間を振り返り、学習のまとめとして感想文を書く。 ・ 文章に表れたものの見方や考え方によって学んだことを振り返る。		授業の取組の様子	

3 課題・提出物等

- ・ 各単元において、学習プリントやレポート等を提出してもらいます。また、ノートや感想文、「相互評価表」なども提出してもらいます。その都度、先生から指示がありますので、よく聞いて提出期限の日までに提出してください。
- ・ 六月の「弁論大会」に向けて意見文を書きます。具体的な取り組みは中間テスト後から始めます。日頃から新聞や読書を通して自分の考えを深め、表現できるようにしましょう。
- ・ 一、二学期の学期末に「漢字力テスト」を行います。テストの範囲は別途先生から連絡がありますから、計画的に学習しましょう。
- ・ 夏休みの課題として、読書感想文を提出してもらいます。具体的な要項は夏休み前までに連絡しますが、日ごろから読書に親しむ生活を心がけましょう。

4 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います。				
関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いているか。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしているか。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けているか。
<p>これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の学習の様子（発表や討論の様子、学習活動への参加状況など） ・ 「話す・聞く」や「書く」学習の際の発表や評価表 ・ 学習プリントやレポート、意見文、感想文などの提出物 ・ 週末課題の取り組み ・ 年5回実施する定期テスト <p>なお、1学期・2学期・年間の評定は、上記の評価に加えて、1・2学期の学期末に行う漢字書力テストの成績や定期テストの成績をもとに、総合的に判断します。</p>				

5 担当者からのメッセージ

皆さん、高校入学後の一年間どうでしたか。いよいよ二年生に進級しました。さて、国語科では、3年間の国語の授業を通じて、皆さんに、社会人として通用する「話す力・聞く力」や「書く力」、また「読む力」を付けることを学習の目標としてしています。

二年の「現代文」は一年で学習した「国語総合」の内容を受け、引き続き、高等学校国語の発展的な内容を学ぶ科目です。内容的には、明治以降の「随想」や「小説」、「評論」、「詩」などを通じて、「読む力」を付けるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める学習をします。また、科目の目標を踏まえつつ、折に触れて様々な言語活動を行います。それらの活動を通して、皆さんに高校生としてふさわしい「話す力・聞く力」や「書く力」といった表現力を育成します。

1年後に、確かな表現力が育っているように、しっかり学習していきましょう。

